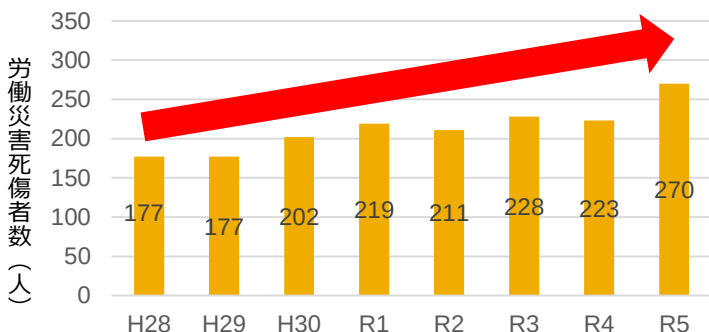


福島県内の小売業に関わる皆様 労働災害を防止しましょう！

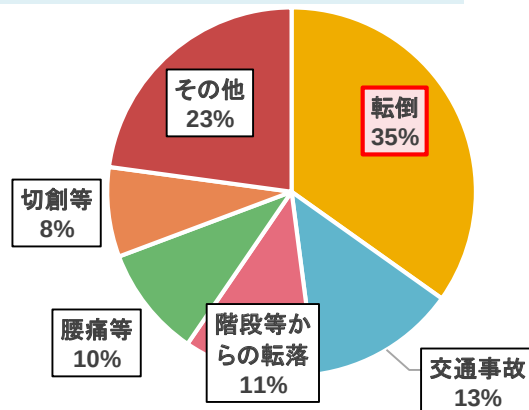
福島県内の労働災害は長期的に見て減少傾向にありますが、小売業に注目してみると、労働災害は増加傾向にあります。小売業における労働災害の特徴や対策を知り、効果的に労働災害を防いでいきましょう。

福島県内の小売業の労働災害発生状況（新型コロナウイルス感染症り患を除く）

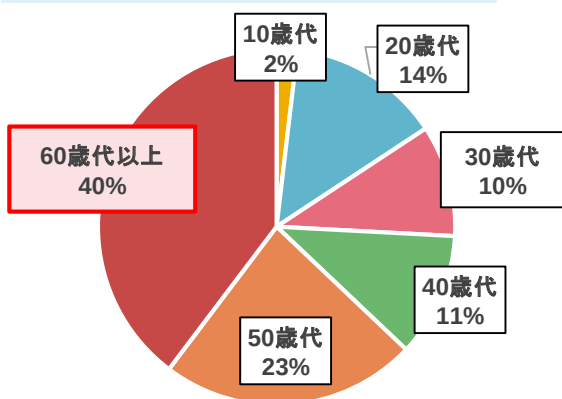
労働災害の推移（福島県小売業）



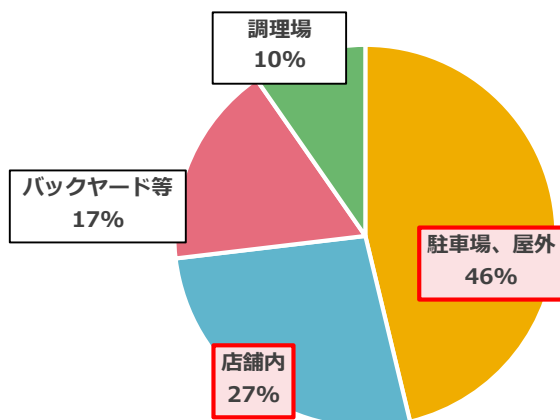
事故の型別労働災害割合
（令和5年福島県小売業）



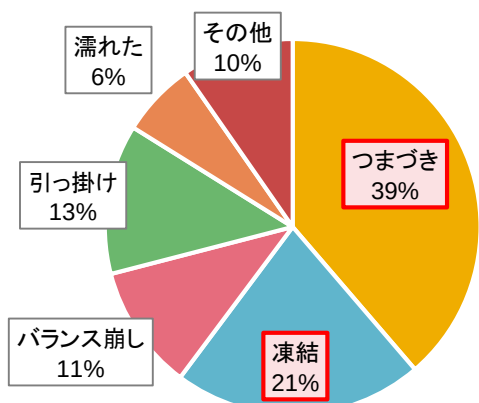
年齢別労働災害割合
（令和5年福島県小売業）



発生場所別転倒労働災害割合
（令和5年福島県小売業）



原因別転倒労働災害割合
（令和5年福島県小売業）



Point!

- ◎ 小売業の労働災害は増加傾向にあります。
- ◎ 年齢別で見ると、**60歳以上**が4割を占めています。
- ◎ 事故の型で見ると、**転倒災害**が約4割を占めています。
- ◎ 転倒災害の原因は、「**つまづき・凍結**」が6割を占めています。
- ◎ 転倒発生場所は駐車場や屋外が最も多いですが、店舗内やバックヤード等でも発生しています。

福島県内の転倒災害発生事例と対策

◆店内・バックヤード・倉庫

<災害事例>

- 店内を歩行中、商品が入った箱につまずき転倒。
- 足元の配線コードにつまずき転倒。

<対策>

- ☐ 床面、通路はくぼみ、段差がなく滑りにくい構造とする。
- ☐ 整理整頓を行い、物を放置しない。
- ☐ 床下にコードを配線するかカバーを設置する。

<対策の好事例>

- 配線カバー(マット)を設置する。



◆駐車場、屋外施設

<災害事例>

- 駐車場から店舗に向かう途中、凍結路面で足を滑らせ、転倒。
- 暗い屋外階段で、足元の段差につまずき転倒。

<対策>

- ☐ 履物は滑りにくく、安定したものとする。
- ☐ 階段、スロープに滑り止め、手すりを設ける。
- ☐ あらかじめ凍結する場所がわかっている場合、凍結防止剤を撒いたり、雪かきや水を掃きだす。
- ☐ 必要な照度を確保する。人感センサーによる照明を設置する。

<対策の好事例>

- 冬季は、駐車場や屋外施設では凍結路面で滑りにくい靴底のものを履くよう推奨する。

滑りにくい靴の例
(ピン、金具付きの靴底 深い溝のある靴底)



(イラスト出展：ウインターライフ推進協議会)

- 人感センサー付きライトを設置



◆調理場、冷凍庫

<災害事例>

- 冷凍庫に入った際、冷凍庫床で足を滑らせ、転倒。

<対策>

- ☐ 床の水たまりや氷は放置せず、その都度除去する。
- ☐ 履物は滑りにくく、雪や氷の上でも歩きやすいものを履く。

<対策の好事例>

- 靴裏が見えるように靴を保管し、週1回、靴裏チェックを行う。



(写真出展：見える安全活動コンクール)

<管理面での対策>

- ◎ 経営トップによる安全衛生方針の表明をする。
- ◎ 企業本社（店舗運営に長けている部署）が主導して店舗に取組を指示する。
- ◎ 4S（整理、整頓、清掃、清潔）活動を実施する。
- ◎ ハード面（設備的対策）、ソフト面（教育）の両面の対策を実施する。

労働災害防止対策の参考資料

◆好事例の紹介

右のリーフレットを参考に転倒災害防止活動を実施しましょう

詳細はこちら



◆労働者向けリーフレット

右のリーフレットを労働者に配布して注意喚起しましょう

詳細はこちら



◆エイジフレンドリーガイドライン

- 福島県内の小売業における労働災害は、60歳以上の被災者が4割以上を占めることから、高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）に基づく措置を実施してください。



詳細はこちら



◆効果的な転倒災害防止対策（ソフト面）

- ロコモ度は、ロコモ度2、ロコモ度1、無しの3段階で、移動機能の低下状態を見える化して労働者の自覚を促すことができます。
- ロコモ度テストは、①立ち上がりテスト（下肢筋力確認）、②2ステップテスト（歩幅確認）、③ロコモ25（からだの状態や生活状況確認）があり、身体能力（移動機能）の度合いを確認できますので、その結果を配布して労働者に自覚を促すことで、効果的な転倒災害防止対策（ソフト面）になります。



詳細はこちら



◆労働者向け労働災害防止教育用動画

- 安全衛生教育等にご活用ください。
- 正社員のみならずパート・アルバイト等の正社員以外の労働者にも教育が必要です。

【労働災害防止対策（小売業）】



※日本語の他に、英語、中国語、ベトナム語、フィリピン語^{※1}、カンボジア語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語、ネパール語、モンゴル語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語の動画があります。

（右は英語、ベトナム語の例）

※1：表記は職場のあんぜんサイトに合せていた。



【飲食店・小売業向け転倒・腰痛防止用視聴覚教材】



労働者向け労働災害防止教育用動画は、「職場のあんぜんサイト」の各種教材・ツールから視聴出来ます。

詳細はこちら



利用可能なサービスなど

◎中小規模事業場安全衛生サポート事業（中央労働災害防止協会）

中小事業者（1事業場につき、概ね100人未満で、労働保険加入の製造業、第三次産業、鉱業）は、**無料**で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます。

詳細はこちら
⇒



SAFEコンソーシアム

厚生労働省は、全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」を設立しました。

趣旨に賛同した企業、団体がコンソーシアムを構成し労働災害問題の協議や、加盟者間の取組の共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などをサポートしていきます。

加盟は無料で、ロゴマークの使用やアワードによる労働安全衛生への取組のPR、加盟メンバー間での取組事例の共有による企業内等での労働安全衛生水準の向上等のメリットがありますので、趣旨に賛同いただければ是非加盟してください。



SAFEアワード応募の勧め

SAFEコンソーシアムでは、「SAFEアワード」という表彰制度を設けています。これは、企業、団体、事業場等に対して取り組み実例を募り、優良と認められる取組を進める企業、団体事業場等を顕彰する制度です。取り組まれている事例があれば、積極的に応募してください。

令和4年度に福島県内の小売業が労働災害防止対策について応募し、北海道・東北ブロックのブロック賞を受賞しました。

SAFEコンソーシアムポータルサイト
(加盟申請、アワード応募)



福島県小売業SAFE協議会

SAFEコンソーシアムの一環として、都道府県労働局ごとに小売業について、令和4年度より協議会を設置して運営をしています。福島県内の小売業のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体等を構成員とする「福島県小売業SAFE協議会」を設置し、構成員による連携した取組を展開し、構成員の安全衛生管理の好事例を管内事業場へ水平展開を行うこと等により、福島県内全体の安全衛生に対する機運醸成を図ることを目的に活動しています。

福島県小売業SAFE協議会構成員

- ・株式会社いちい
- ・株式会社ヨークベニマル
- ・株式会社マルトグループホールディングス
- ・株式会社リオン・ドールコーポレーション
- ・中央労働災害防止協会東北安全衛生サービスセンター

- ・福島県
- ・一般社団法人福島県労働基準協会
- ・福島産業保健総合支援センター
- ・一般社団法人福島県理学療法士会
- ・福島労働局（事務局）